

施策 3 ユニバーサルデザインに配慮したまちづくりを進める
取組項目 2 鉄道駅や周辺のバリアフリーを充実させる

[事業番号 27]

駅と周辺の主要な公共施設を結ぶ経路の整備

1 事業内容

平成30年度に主要な公共施設と最寄り駅を結ぶアクセスルートを指定し、わかりやすく一貫した案内誘導や管理区域境界の連続性等に配慮した整備等に取り組むこととした。令和元年度はモデル整備を実施し、令和2年度には、医療機関へのアクセスルート新規指定を行った。今後は、未指定ルートにおけるアクセスルートの指定や、指定したアクセスルートの整備を促進していく。

2 令和4年度 of 取組み

※整備の詳細は別紙参照

- (1) 令和2年度に指定した医療機関へのアクセスルートにおけるバリアフリー整備を実施。

整備部署	ルート	内容
土木部	高野台	視覚障害者誘導用ブロックの敷設、案内標識設置、外来棟入り口前段差解消
	光が丘	視覚障害者誘導用ブロックの敷設、案内標識設置（2基）
建築課	高野台	触知案内板の変更
	光が丘	駅構内の案内板および都営住宅の案内地図の病院名等の変更

(2) バリアフリー整備について関係機関へ要請・協議

要請・協議先	ルート	内容
東京都交通局	光が丘	駅構内の案内図の変更
東京都	高野台	視覚障害者誘導用ブロックの破損修理
	光が丘	植樹升の変更、柵の移設、視覚障害者誘導用ブロックを JIS 規格へ変更
公安委員会	高野台 光が丘	エスコートゾーンの設置、視覚障害者用付加装置付信号機の設置等
東京都住宅局	光が丘	視覚障害者誘導用ブロックの敷設、案内地図等
順天堂大学医学部 附属練馬病院	高野台	誘導鈴の設置、案内板の設置、耳マーク・筆談マークの設置、ベンチの設置等 ※令和3年度に対応済み
練馬光が丘病院	光が丘	駅構内の案内看板の修正、光が丘駅 A 2 出入口エレベーターホールへの看板設置

(3) 未指定地域におけるルート指定における課題の検討

令和5年度以降にアクセスルートとして指定する地域については、歩道がない（狭い）という現状があったため、車いす利用者および視覚障害者と意見交換を実施させていただき、安全な通行に関する整備の手法の検討を開始した。今後も情報収集を行いながら、令和5年度に実施予定のアクセスルートワークショップの中でも検討を行う。

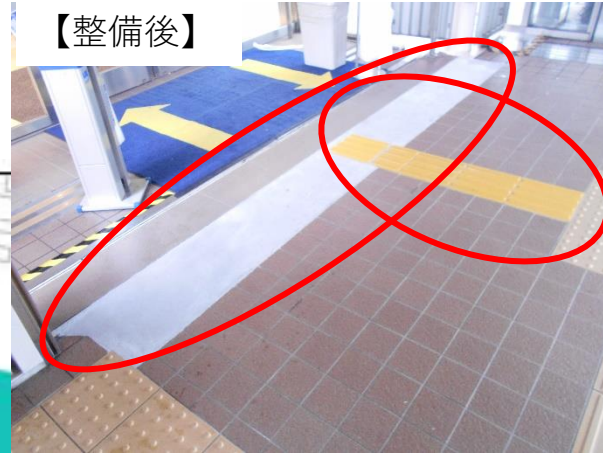
練馬高野台駅におけるアクセスルートのバリアフリー整備

【西側】

【整備後】



【整備後】



誘導用ブロック敷設

エレベーターと外来棟入り口において、誘導用ブロックが不連続になっているため、新規敷設し解消した。

併せて、生じていた約2cm程度の段差を解消し、より安全に移動できるようにした。

- 区における整備
- 関係機関における整備

誘導用ブロック補修<東京都整備>

破損していた視覚障害者誘導用ブロックを補修

触知案内板変更

盤面が現状と合っていないため、現状にあわせるとともに、アクセスルートを表示した。

【東側】

【整備後】



【整備前】



【整備後】

ベンチ、誘導鈴等の設置<順天堂病院> R3年度対応

各出入口に誘導鈴を設置、受付窓口に、耳マーク・筆談マークの設置、連絡通路に案内板の設置、出入口にベンチの設置を行った。



案内標識の新設

現状病院を示す案内板がないため、駅前に新規で周辺施設と併せ案内標識を設置した。



【整備後】

※音声付加機能付信号機やエスコートゾーンの設置については、引き続き働きかけを行う。

案内表示変更<東京都交通局整備>

病院の移転に伴い、地図や出入口案内の表示を変更した。

※駅構内の出入口表示については、区管理区域部分は、区で同様に対応した。

案内板に病院名を追加

経路上にある都営住宅の周辺案内図に、病院名およびピクトグラムを表示した。

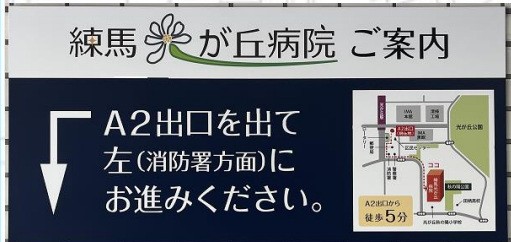


【拡大写真】

- 区における整備
- 関係機関における整備

誘導用ブロック敷設

既に敷設されている都道部分に連続させるような形で、病院の入り口まで、新規敷設した。
併せて横断歩道橋の下は、視覚障害者が入り込まないように柵を設置した。



案内板を設置<練馬光が丘病院>

E Vホール内に病院の方向が分かる案内板を設置。



誘導用ブロックのJIS化<東京都整備>

駅前広場に敷設されている誘導用ブロックを変更した。



【整備後】



【整備前】

案内標識の設置予定 (R5年3月)

A 1 出入口前に設置されている都道の案内標識に、病院の方向を示す案内標識を追加設置する予定。



【整備後】



【拡大写真】

車止めの撤去<東京都整備> 植樹升の修繕

視覚障害者誘導用ブロックのすぐ近くにあった車止めを撤去した。
浮き上がってつまづきやすくなっていた植樹升を平たんにした。

案内標識の設置

分岐点に設置されている既存の案内標識に、病院の方向を示す案内標識を追加設置。



練馬光が丘病院

【整備前】



【整備後】



【整備後】

乗降客が多く、駅の構造上、1ルートだけでは利便性を欠く光が丘駅について、2ルート目の確保に向けて整備を進めています。

都営大江戸線光が丘駅のバリアフリー化された出入口は、現在A3出入口側のみとなっています。A5出入口側も多くの利用者があることから、A5出入口側のバリアフリー整備を進めています。

また、駅出入口に生じている段差の解消工事も行いました。



【整備前】

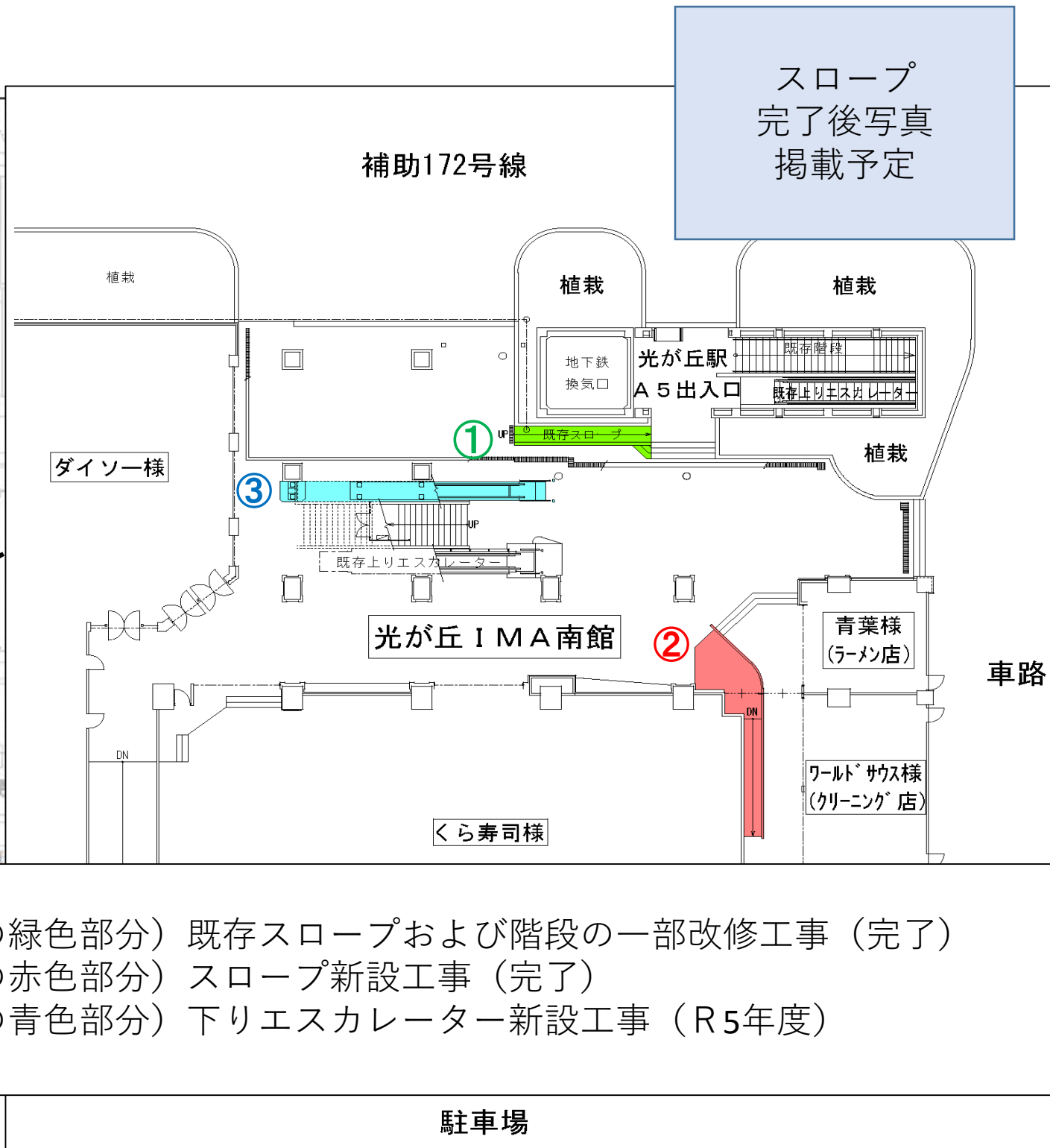
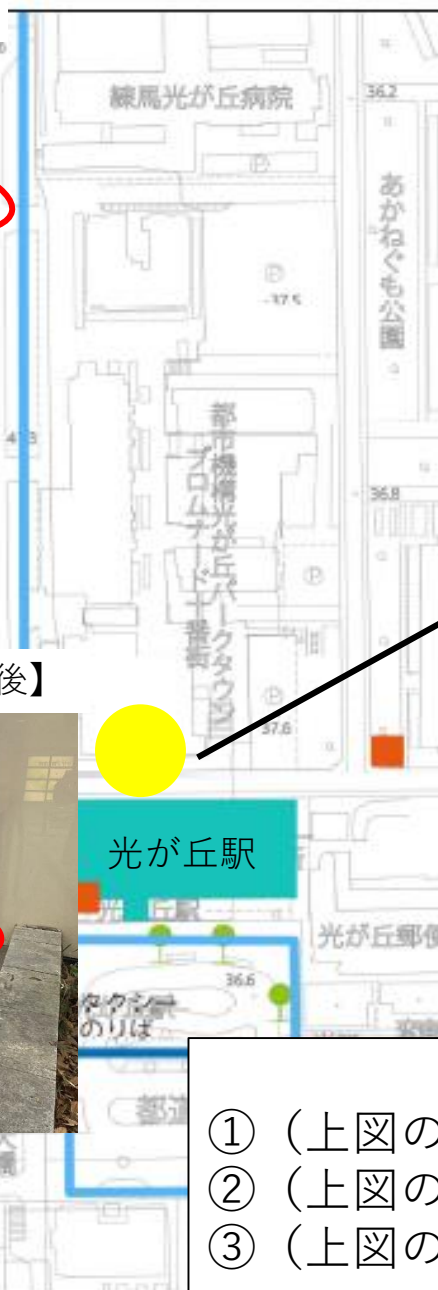
区で実施したスロープ工事と併せて、出入口に生じていた段差を解消。



【整備後】



【拡大写真】



スロープ
完了後写真
掲載予定

- ① (上図の緑色部分) 既存スロープおよび階段の一部改修工事 (完了)
- ② (上図の赤色部分) スロープ新設工事 (完了)
- ③ (上図の青色部分) 下りエスカレーター新設工事 (R5年度)

駐車場

施策 4 多様な人の社会参加に対する理解を促進する
取組項目 1 学び合いで、個性を伸ばし、感性を育む

[事業番号 37]

ユニバーサルデザイン体験教室の拡充

1 事業内容

次世代を担う子ども達が、障害のある方などとの交流を通じ、それぞれの違いに気づき、考え、行動できる意識を学ぶための講座。令和2年度から実施校を中学校まで拡大し、ユニバーサルデザインについて継続的に学ぶ機会を拡充していく。

2 令和4年度までの取組み（実績）

年 度	実施校・受講者数 (延)	内容等
令和元年度	小学校 5校 355人	ユニバーサルデザインについて

現 行 計 画 期 間	令和2年度	小学校 4校 296人 中学校 1校 415人	ユニバーサルデザインについて 障害当事者との交流 パラスポーツ体験
	令和3年度	小学校 8校 642人	
	令和4年度	小学校 12校 1,435人	

3 受講後のアンケート結果（令和4年度分）

(1) 受講してすぐにやってみようと思ったこと。

- ・ユニバーサルスポーツの体験をしてみて、もっと障害者スポーツを知りたいと思った。
- ・まちの中のユニバーサルデザインを探してみたい。
- ・恥ずかしがらずに進んで声かけをしたい。
- ・相手の気持ちを考えて行動したい。
- ・人の考えを否定しない。
- ・点字を覚えたい。

(2) 授業を受けた感想（自由意見。一部抜粋）

- ・ユニバーサルデザインは身近にたくさんあることに気が付いた。
- ・ユニバーサルデザインの授業を通して、人それぞれ違うことを学べた。
- ・「違い」は「間違い」ではないことが、ゲームで楽しく理解できた。
- ・もっと勉強して他の人にも教えてあげたい。

ユニバーサルデザイン体験教室 アンケート結果

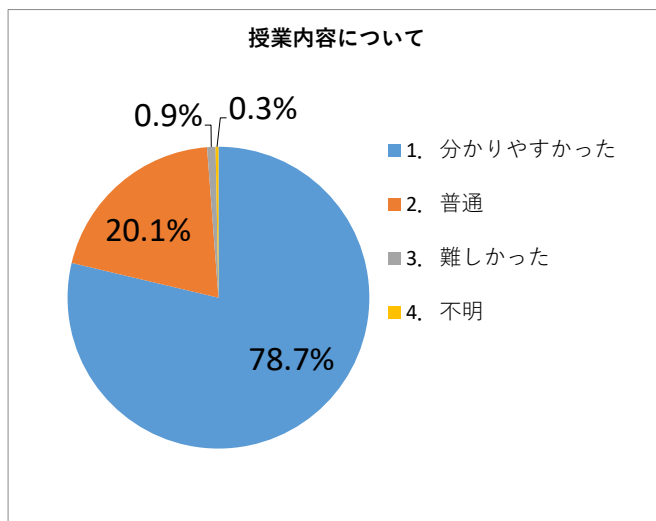
回収数	662
-----	-----

■授業内容について

項目	回答数
1. 分かりやすかった	521
2. 普通	133
3. 難しかった	6
4. 不明	2

【難しかった理由】

- ・ペガールポールはどんな子も楽しくできると言っていたが、目が見えない人はどのように楽しめばいいのか疑問に思った。
- ・電気のスイッチの内容

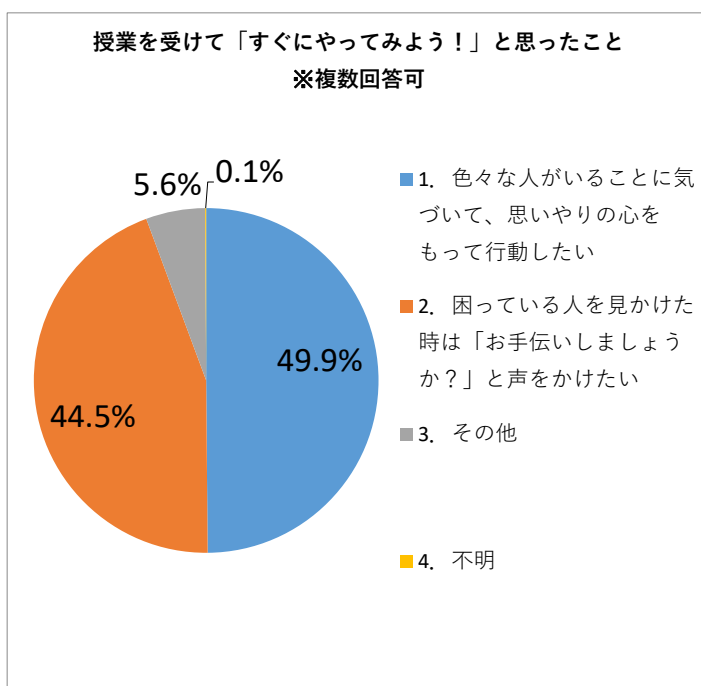


■授業を受けて「すぐにやってみよう！」と思ったこと ※複数回答可

項目	回答数
1. 色々な人がいることに気づいて、思いやりの心をもって行動したい	547
2. 困っている人を見かけた時は「お手伝いしましょうか？」と声をかけ	488
3. その他	61
4. 不明	1

【その他意見】 ※抜粋

- ・点字を覚えたい
- ・恥ずかしがらずに進んで声掛けをしたい
- ・相手の気持ちを考えて行動したい
- ・まちの中のユニバーサルデザインを探してみたい
- ・点字ブロックを塞がない
- ・人の考えを否定しない
- ・白杖を持っている人がいたら道をあける
- ・やさしい言葉で話しかける
- ・ユニバーサルスポーツの体験をし、パラスポーツをもっと知りたいと思った。



■ユニバーサルデザイン体験教室全体の感想（自由意見） ※抜粋

- ・今回学んだことを色々な場面で生かしたい。
- ・もっと勉強して他の人にも教えてあげたい。
- ・人のために役立ちたいという人がいて、少しずつ暮らしやすいまちになっていく。私も少しでも役に立ちたい。
- ・相手の立場になって考えることはとても大切なことなので、やってみようと思った。
- ・前から困っている人がいたら声をかけよう意識していましたが、改めてそう感じた。
- ・UDの授業を通して、人それぞれ違うことを学べた。
- ・当たり前だと思っていたものがユニバーサルデザインで驚いた。
- ・ユニバーサルデザインは身近にたくさんあることに気が付いた。
- ・「違い」は「間違い」ではないということが楽しくゲームで分かった。
- ・ゲームなどを通して楽しく分かりやすく学べることができた。
- ・実際に目の不自由な方が教えてくれたので、理解しやすかった。
- ・心のユニバーサルデザインという思いやりのユニバーサルデザインがあることを知った。
- ・分からなかったことが分かった、この授業を受けて困っている人を助けてあげようと思いました。
- ・どんなものがあり、どんな人が使うのかまでは知っていたが、どんな接し方をすればいいのかは初めて知った。
- ・最初ユニバーサルデザインがよく分かっていなかったが、説明が分かりやすくよく理解できた。
- ・イラストを見て考えるコーナーで友達の意見を聞いて、自分の考えも変わった。
- ・点字ブロックの存在は知っていたけれど、詳しいことは知らなかったなので、勉強になった。
- ・トイレにシャワーのようなものがある時に不思議だなと思っていたが、この授業で正体がわかってよかった。
- ・真剣なお話をしている時も、その間に面白いお話をしてくれたので、ずっと楽しく授業を受けれた。

1 だれでもトイレの名称変更に伴う取扱いの背景

令和3年3月に高齢者、障害者等の円滑な移動に配慮した建築設計標準が改正され、トイレの表示は「多機能」「多目的」等、だれもが使用できるような名称ではなく、利用対象および個別機能をピクトグラム等で表示することと見直された。これを受け、東京都はトイレ全体でユニバーサルデザインを推進することとし、東京都福祉のまちづくり条例施行規則から「だれでもトイレ」の名称を削除した。練馬区福祉のまちづくり推進条例施行規則においても、同様の改正を行い、「だれでもトイレ」の名称は使用しないこととなった。このことを受け、各部会員に意見を求め、今後の区の方向性を再度検討した。

2 前回いただいたご意見

(1) 新たな名称について

- ・「名称をどうするか」ではなく、「適切な利用の在り方」についてきちんと対応していくべき。
- ・「優先トイレ」や「思いやりトイレ」等の名称
- ・公共的トイレの整備状況や使用状況を把握し、名称の設定はあまり拙速にならないようにすべき。

(2) 交通事業者の対応について

- ・「バリアフリートイレ」に変更する方向である。
- ・東京都が示している方針（ピクトグラムで表示）に基づき対応予定。
- ・動向を注視し、議論していく必要がある。

(3) その他

- ・国と都の方針に従う方がよい。名称変更だけでなく、区としても率先してすべてのトイレをバリアフリーになるよう整備推進してほしい。

3 今後の区の方向性

(1) 表示変更に係る取組み（令和5年度実施）

ア トイレの出入口における表示変更（令和5年度実施）

区立施設、区立公園、学校等のトイレの出入口に表示されている、「だれでもトイレ」「多機能トイレ」「多目的トイレ」等の名称を削除する。

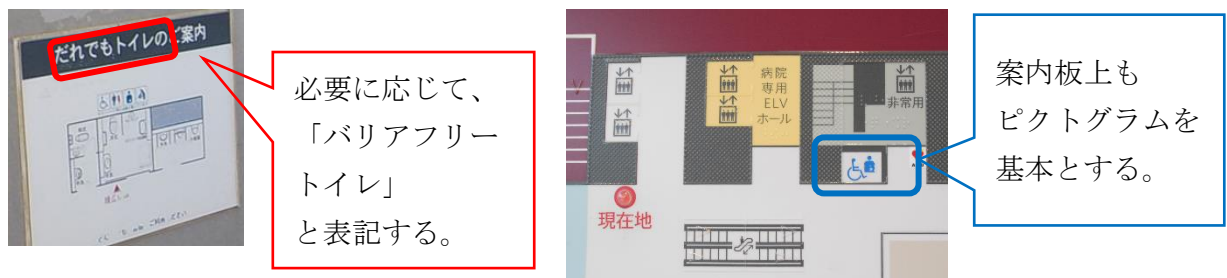
ピクトグラム等がない場合は、新たにピクトグラムを設置する。



イ 案内板等における表示

トイレの位置に車椅子マーク等設備を表すピクトグラムを表記する。

何らかの名称が必要な場合は「バリアフリートイレ」と表記する。



(2) トイレ全体のユニバーサルデザイン推進の取組み

東京都が令和4年3月に作成した「多様な利用者のニーズに配慮したユニバーサルデザインのトイレづくりハンドブック」を参照し、区立施設の改築等の機会を捉え、トイレ内設備・機能の分散配置をするとともに、練馬区福祉のまちづくり推進条例の事前協議において、民間の建築物等においても、トイレ内設備・機能の分散配置を指導し、区内の建築物のトイレのユニバーサルデザインの推進に取り組んでいく。

また、トイレの適正利用についても、ホームページやポスターの掲出等により適切に周知していく。